

第14回

夫婦の手紙・絵手紙 コンクール表彰式

11
11
22
22
いい夫婦の日に感謝の手紙

「第14回夫婦の手紙・絵手紙コンクール」の表彰式が11月22日（いい夫婦の日）、菊池市生涯学習センター2階中央公民館大研修室で行われました。

このコンクールは、本市のイメージづくりの一環として平成17年にスタート。今回は全国各地から手紙の部に149点、絵手紙の部に179



夫婦の絵手紙 最優秀賞作品
向井喜八さん（鳥取県米子市）



最優秀賞を受賞した中嶋ひろこさん夫妻。
芳野副市長から賞状と目録が贈られました

点の応募がありました。

表彰式では14人の受賞者に賞状と副賞が手渡され、受賞者を代表して夫婦の手紙最優秀賞の中嶋ひろこさん（上益城郡甲佐町）が、夫に宛てた手紙を朗読。会場からは大きな拍手が送られました。

芳野副市長は「大変素晴らしい作品ばかり。時が流れても変わらぬ夫婦の愛情に強く感銘を受けました」と語りました。

夫婦の手紙
大賞作品

樋口昭彦さん（八代市）

お盆を過ぎた明け方のことでした。
「あんちゃん、こっちはおいでよ。」
と、はっきりとした声で、あなたの寝言が聞こえてきました。
八月中旬に、長男の嫁と孫娘二人が帰ってきて、にぎやかな日々があっという間に過ぎ去りましたね。食事に洗濯、まだ歩けないりんちゃんを抱っこ、動き回るあんちゃんの手相手とフル回転でした。嫁の実家に里帰りする三人を空港へ送って、別れ際に、
「いやだ、いやだ。」
と、あんちゃんが大泣きし、別れたくない感情を涙で表してくれました。あなたも大粒の涙を流していましたね。
家族を大切に、優しい愛情をかけるあなたです。人生最高のパートナーです。
普段は海外にいて、夢の中しか会えなかった孫娘たちだけ、二人の成長をできるだけ長く、一緒に見守っていきましよう。